



大成ロテック
西田義則社長

収益力向上へ

今年は中期経営計画の最終年度。2020年度は受注、売上高、利益ともに目標必達であり、達成するためにはさらなる収益力の向上が必要だ。

建設部門はこれまでの施策に加えて事業量の拡大、生産性の向上などを目的に小工事から中大工事、下請工事から元請工事へとそれぞれ比重を移していくことが必要だ。合材・製品部門は数量を伸ばし、取り扱い製品の幅をひろげ、売上高の拡大につなげる。